



南小だより

E-mail kogenminami@ac.city.myoko.niigata.jp

〈教育目標〉

進んで学ぶ子

思いやりのある子

最後までやりぬく子

〒949-2112 妙高市関川1592

TEL: 0255-86-2104

FAX: 0255-86-3212

見てて!

校長 渡辺 伸一

「校長先生、見てて!」

珍しく縄跳びの縄を持ちながら1年生が駆け寄ってきました。私は、

「いいよ。」

と応えます。今までできなかった縄跳びができるようになったのでしょうか、児童は縄跳びを始めます。私はだまって姿を見守ります。すると縄跳びをしながら時々こちらの方をちらちら見てきます。私がちゃんと見ているかが気になるのでしょうか。時々目と目が合います。うまく跳べたときの輝く笑顔は、見ているこちらもうれしくなます。双方ともニコッとなってしまいました。

別の方に目をやると、2年生の数名も私の方を気にしながら縄跳びの交差や二重跳びに挑戦していました。成功すると『今の見ていた?』と言いたそうにこちらの方を見てきます。私は驚いたような顔をして応じます。

子どもたちは、運動でも勉強でも部活動でもできるようになりたいのです。指導を受けたり、自分で工夫したり、他の児童からアドバイスをされたりしながらどんどん吸収し、成長し、力をつけていきます。そしてまた新しいことに挑戦していくのです。その時に、温かく見ている人がいると一層張り切って取り組みます。特別に気の利いたことを言わなくていいのです。指導しなければと力む必要もありません。取り組んでいる姿を見て微笑み、うなずいていれば子どもたちはぐんぐん成長していきます。

先日、妙高高原こども園の『生活発表会』を拝見する機会を得ました。園児たちは、たくさん保護者に戸惑いながらも、動きを止めて自分の保護者を探していました。見つけると小さく手を振るのです。視線の先には保護者の手を振る姿がありました。安心したように園児たちははりきって歌や合奏、劇などを披露していました。長い歌詞を覚え、大きな口を開けて歌う姿に子どもの成長を感じたことでしょうか。家に帰って親子で感想を伝え合う姿が目につかびます。

成長して高学年くらいになると、かかわり方が難しくなってくることもあります。中学生になるとなおさらです。それでもそっと見守り続けましょう。温かく包むような眼差しで成長を見届けましょう。時には「よかったよ。」のひとことを添えて。

スキー部結団式での児童代表の抱負より

アルペン部部長 6年生



今年のアルペン部の目標は2つあります。1つ目は、あいさつと返事をしっかりすることです。コーチやスキー場の方々などにいろいろな場面でお世話になります。感謝の気持ちを伝えるためにも、しっかりとあいさつや返事をしていきたいです。

2つ目は、技術力の向上です。最終的には、信越学童スキー大会などで、一人一人が目標を達成し、実力を発揮することができるようになります。そのために真剣に練習して、全員の技術力が向上するようにがんばっていきます。



クロカン部部長 6年生



今年のクロカン部の目標は3つあります。1つ目は、あいさつを大きな声ですることです。それはスポーツ選手として当然のことだからです。あいさつによって感謝の気持ちが伝わります。また、自分たちを強く見せることもできます。

2つめは集団行動です。移動などはてきぱきと行動し、練習時間を確保したいです。体操の場面でも声を出して団結力を強めていきたいです。

3つめは忘れ物をしないです。クロカンスキーは道具を必要とするスポーツです。自分の持ち物は自分で管理していきたいです。



スキー部活動のねらいは、『スキーの楽しさ、すばらしさを実感し、基礎技術の習得・向上を目指す』『目標をもって意欲的に活動し、自ら体力・技術・マナーの向上に励む』ことです。このねらいに迫る過程で文武両道の高原南の子が一回りたくましく成長してくれることを期待しています。

保護者、コーチ、スキー関係者、地域の皆様には多大なご支援、ご協力をいただきます。“進んで学ぶ子 思いやりのある子 最後までやりぬく子”を目指す妙高高原南小学校と、子どもたちにお力添えを賜いますようお願い申し上げます。



(12月12日 児童朝会にて)